

# 小学校低学年《1・2年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2012年版]

	書名 作者名 出版社	内容
図書	「1ねん1くみ1ばんいいやつ」  後藤 竜二 作 長谷川 知子 絵 ポプラ社	花火まつりにいくことを、とてもたのしみにしていたくろさわくん。 でも、花火まつりの日のくろさわくんは、ちっともうれしそうではありません。ひとりでせんこう花火をしています。くろさわくん、どうしたのかな…。
図書	「コアラゆうびん」  齊藤 洋 作 森田 みちよ 絵 理論社	「やくに立って、あっちこっち行ける」そんなしごとがしたいなあ。そう思って、コアラはゆうびんやさんをはじめました。 しかし、「ともだちへ」とだけ書かれた手紙が…こまっていると、カンガルーやとなりのコアラが、手つだってくれることになりました。みんなで手紙をとどけよう。
絵本	「こんたのおつかい」  田中 友佳子 作・絵 徳間書店	おつかいをたのまれた、こぎつねのこんた。お店に行くときちゅう、お母さんに「だめよ」といわれていた「もりのみち」をどうしても通りたくなってしまい…。こんたはぶじにおつかいをする事ができたのでしょうか？
図書	「おさるのはまべ」  いたう ひろし 作・絵 講談社	ぼくはおさるです。南のしまにすんでいます。ぼくのすむしまはとても小さいけれど、森があります。山があります。川があります。ぼくはこのしまで、まい日たのしくらしています。中でもたのしい一日は、はまべであそぶ一日です。
絵本	「じごくのそうべえ」  田島 征彦 作 童心社	つなわたりのさいちゅうに、つなからおちてしまったかるわざしのそうべえ。 気がつくと、そこは「じごく」。 やまぶしのふっかい、はいしゃのしかい、いしゃのちくあん、さんずの川をわたってえんま大王の元へ。 はたして、そうべえたちは生きかえることができるのでしょうか？

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	「ちいちゃんのかげおくり」  あまん きみこ 作 上野 紀子 絵 あかね書房	ちいちゃんとおにいちゃんに「かげおくり」というあそびをおしえてくれたおとうさんがせんそうにいてしまいます。 そして、くうしゅうがちいちゃんのまちにも。空はたのしいところから、とてもこわいところにかわってしまい…。
図書	「シッ <sup>せんちよう</sup> 船長とくじら」  かどの えいこ 作 オームラ トモコ 絵 偕成社	つりじょうずの男の子と出会ったシッ船長。「わたしもつりの天才とよばれたことがある」とホラをふき、ねらうえものは「でっかいくじら」なんてみえを切ってしまい…。ちよっとおつちよちよいな船長さんのゆかいなおはなしです。
絵本	「だいじょうぶ だいじょうぶ」  いたう ひろし 作・絵 講談社	しんぱいしなくても「だいじょうぶ」。 むりしなくても「だいじょうぶ」。 それは、ちいさかったころのぼくをいつもたすけてくれた、おじいちゃんのやさしいおまじない…。
絵本	「とペバッタ」  田島 征三 作 偕成社	おそろしいてんきからみを守るため、小さなしげみにかくれすんでいたバッタがけっしんして、大空にむかってとんでいきました。思わずとんでしまいたくなるような、大はくりよくの絵本です。
図書	「ねむり姫」  グリム兄弟 原文 偕成社	うらない女ののろいにかかり、100年もの間、ねむりつづけた いばらひめ。 多くのおうじたちがひめのためにいのちをおとし、100年の年月がながれました。